

2013年度事業報告

1. 研究活動として、(財)福武財団及び(財)おかやま環境ネットワークの助成金を受け、「岡山県日生地域における海の歴史が育んだ地域知にもとづく里海像の設計～水主の漁村の“つぼ網”による定点観測と沿岸再生ネットワーク～」を実施した。
2. 普及啓発活動としては、(財)おかやま環境ネットワークとの協働事業“里海リレーションposium”を実施した。4回の「市民のための環境講座」、3回の「市民学習講座」と計7回のシンポジウムを開催した。
3. 本年度の総括とりまとめのシンポジウムとして、2013年11月6日、岡山市において、環境省、岡山県、香川県、岡山市、備前市及び新庄村の後援を受け、NPO環境創生フォーラム、NPO瀬戸内里海振興会及び(公財)おかやま環境ネットワークとの協働により、岡山ESD関連イベント「これからの里海づくりを考えるin岡山～里山・里海・市民の視点から～」を企画し主催した。
4. 岡山県主催の「自然との共生おかやまフォーラム」、岡山生活協同組合主催の「海のゆりかごアマモの恵み2013」、岡山医療生活協同組合研修会、摂播地区漁協青壮年部連合会座談会、岡山北ロータリークラブ例会などの場において「里海」に関する講演を行い普及啓発に努めた
5. 里海づくり推進活動としては、海洋建設(株)からの「貝殻利用による沿岸域の物質循環の促進」に関する委託業務により、瀬戸内海及び有明海等において調査研究並びに普及推進活動等を行った。
6. 清野聡子理事と田中丈裕事務局長が、山本民次博士(広島大学教授)とともに、2016年2月9日、東京海洋大学において、第29回沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウム「沿岸環境修復技術としての貝殻利用の最前線～物質循環の促進向上に向けて～」を企画開催した。
7. (株)エイト日本技術開発からの委託により、岡山県の重要港湾である水島港特定港区、倉敷市小原地先海域環境改善に関する調査研究について技術的助言・指導を行った。
8. 東京大学公共政策大学院が岡山県日生をモデルに進めている海洋空間計画の作成に支援協力した。

9. フランスのブローニュインシュール及びマルセイユで開催された日仏海洋学会、カナダのバンクーバーで開催されたUBCネレウスのワークショップに、田中文裕事務局長が招聘され、Satoumiに関する意見交換を行い、技術交流を深めた。
10. 国際協力機構JICAから海外研修員の研修指導の依頼を受け、モロッコ漁業省研究官3名の水産環境整備に関する技術指導に携わった。
11. NHK制作のシリーズ番組「海と生きる」、NHKスペシャル「里海」の監修・取材に協力し、これらの活動を通じて「里海」の広報に資することができた。
12. 平成25年9月8日に高松市で開催された瀬戸内海環境保全特別措置法制定40周年記念式典の場において、特定非営利活動法人里海づくり研究会議が環境大臣表彰を受賞した。